

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公表番号】特表2008-534927(P2008-534927A)

【公表日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-503065(P2008-503065)

【国際特許分類】

G 01 N 33/53 (2006.01)

G 01 N 33/547 (2006.01)

G 01 N 33/577 (2006.01)

C 07 D 305/14 (2006.01)

C 07 K 16/44 (2006.01)

【F I】

G 01 N 33/53 S

G 01 N 33/547

G 01 N 33/577 B

C 07 D 305/14

C 07 K 16/44

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

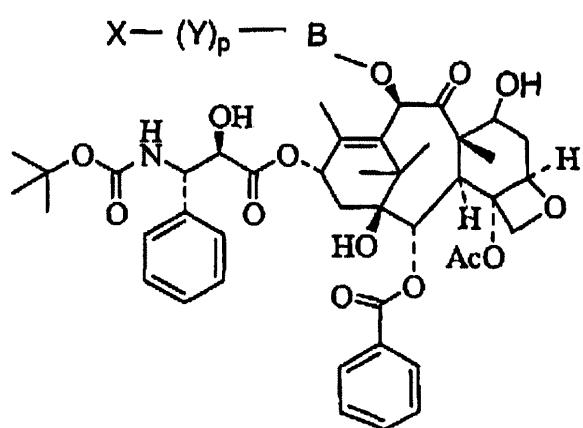
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

試料と、ドセタキセルに反応する抗体と、一般式

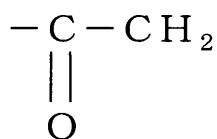
【化1】



II-A

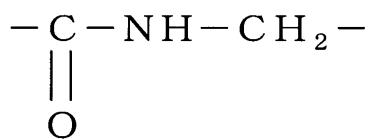
(式中、Bは-CH₂-、

【化2】



又は

【化3】

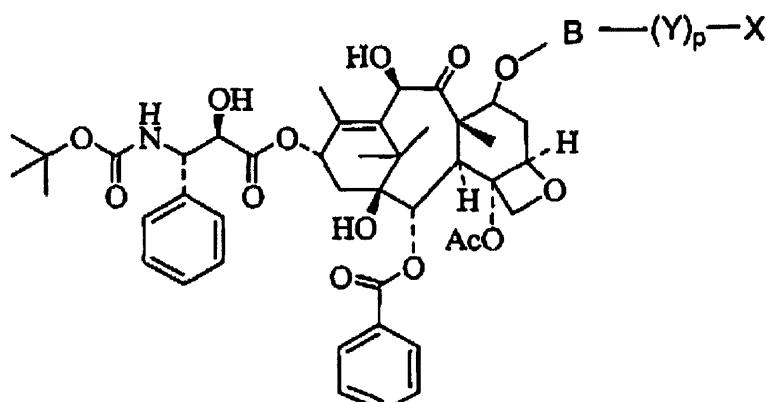


であって、Yは有機スペーシング基、Xは担体に結合可能な官能基、pは0から1の整数である）

の化合物、

一般式

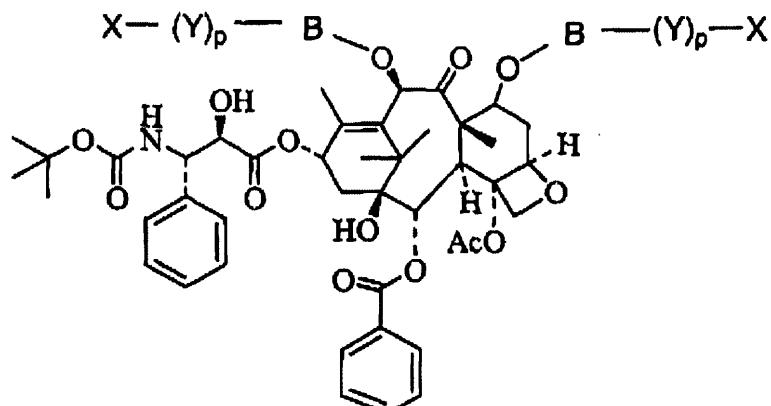
【化4】

**II-B**

（式中、B、X、Y及びpは上述のとおり）

の化合物、

【化5】

**II-C**

(式中、B, X, Y及びpは上述のとおり)

の化合物

及びその混合物から選択された配位子を伴う担体の共役とを含む混合物を準備することを含む試料中のドセタキセル検出のための免疫測定法であって、

試料中のドセタキセル及び前記共役を前記抗体と結合させ、その後、前記抗体に結合又は未結合の前記混合物中の前記共役量を測定し、それによって試料中のドセタキセルの存在を測定することができる特徴とする免疫測定法。

【請求項2】

請求項1記載の免疫測定法であって、一般式II-A、II-B及び/またはII-Cの化合物においてpは0であることを特徴とする免疫測定法。

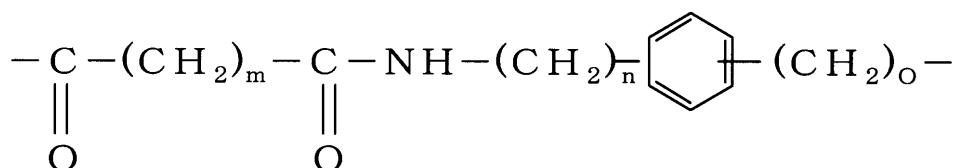
【請求項3】

請求項1記載の免疫測定法であって、一般式II-A、II-B及び/またはII-Cの化合物においてpは1であることを特徴とする免疫測定法。

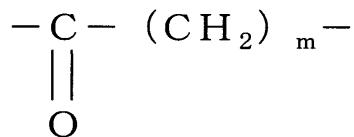
【請求項4】

請求項1又は2記載の免疫測定法であって、一般式II-A、II-B及び/またはII-Cの化合物において、Yは1から10の炭素原子を含むアルキレン、

【化6】

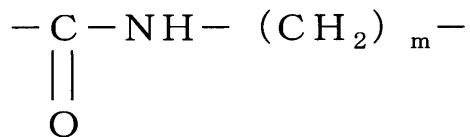


【化7】



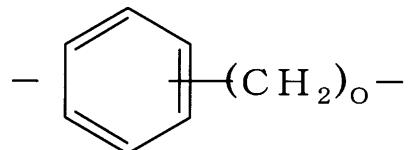
又は

【化8】



又は

【化9】

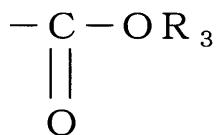


であり、式中 n 及び o は 0 から 6 の整数であり、m は 1 から 6 の整数であることを特徴とする免疫測定法。

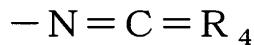
【請求項5】

請求項1から4いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式II-A、II-B及び/またはII-Cの化合物において、Xは、

【化10】

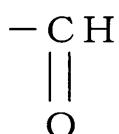


【化11】



又は

【化12】

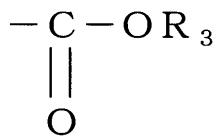


であり、式中 R₃ は水素又はそれに結びつく酸素原子と一緒に得られる反応エステルであり、R₄ は酸素又は硫黄であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項6】

請求項1から5いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式II-A、II-B及び/またはII-Cの化合物において、Xは、

【化13】

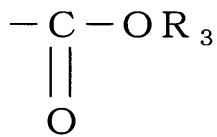


であり、 R_3 は水素であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項7】

請求項1から5いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式II-A、II-B及び/またはII-Cの化合物において、Xは、

【化14】



であり、 R_3 は反応エステルを形成することを特徴とする免疫測定法。

【請求項8】

請求項7記載の免疫測定法であって、一般式II-A、II-B及び/またはII-Cの化合物において、形成されたエステルは低級アルキルエステル、イミドエステル又はアミドエステルであることを特徴とする免疫測定法。

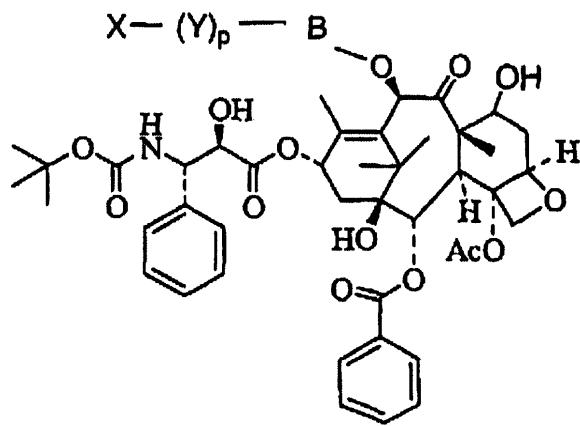
【請求項9】

請求項1から8いずれか一項に記載の免疫測定法であって、試料はヒトの試料であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項10】

請求項1から9いずれか一項に記載の免疫測定法であって、前記抗体は、一般式

【化15】

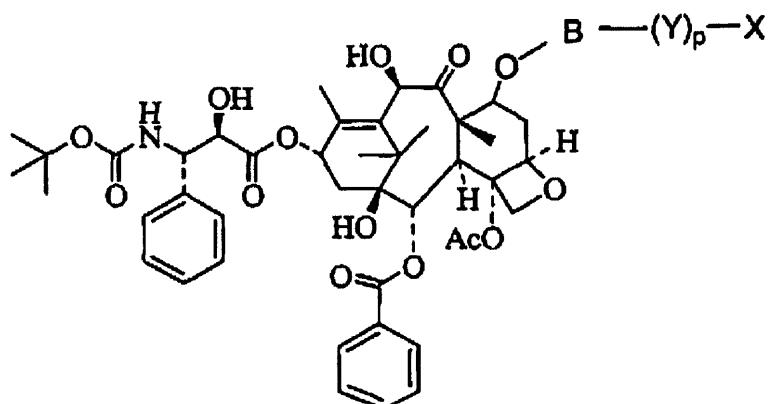
**II-A**

(式中、p、Y及びBは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりで、Xは担体に結合可能な官能基である)

の化合物、

一般式

【化16】

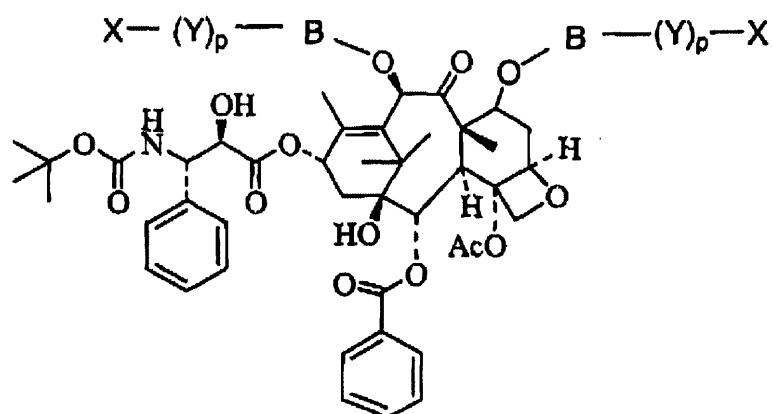


(式中、B, X, Y及びpは上述のとおり)

の化合物、

一般式

【化17】



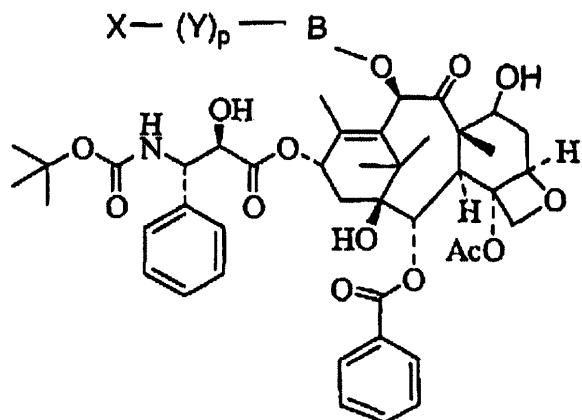
(式中、B, X, Y及びpは上述のとおり)

及びその混合物を含むグループから選択された配位子に連結する免疫原担体を有する免疫原から生成されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項11】

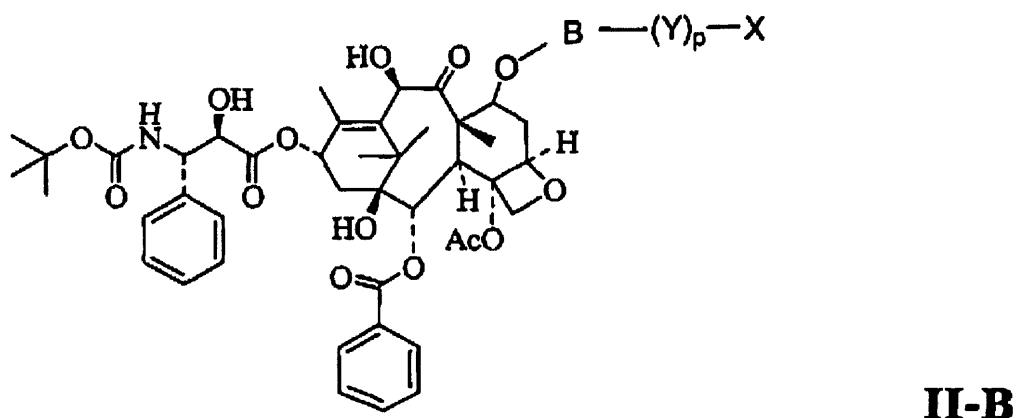
請求項10記載の免疫測定法であって、前記抗体は、一般式

【化18】

(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う免疫原担体の免疫原から誘導されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項12】

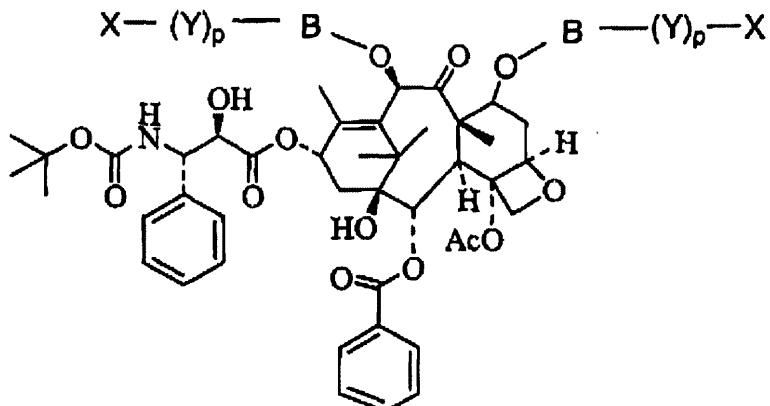
請求項10記載の免疫測定法であって、前記抗体は、一般式
【化19】(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う免疫原担体の免疫原から誘導されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項13】

請求項10記載の免疫測定法であって、前記抗体は、免疫原ポリアミンポリマー及び一般式

【化20】

(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子から誘導されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項14】

請求項1から13いずれか一項に記載の免疫測定法であって、前記抗体は固形支持体に付着していることを特徴とする免疫測定法。

【請求項15】

請求項14記載の免疫測定法であって、前記固形支持体はマイクロタイタープレートであることを特徴とする免疫測定法。

【請求項16】

請求項14記載の免疫測定法であって、前記固形支持体は微粒子であることを特徴とする免疫測定法。

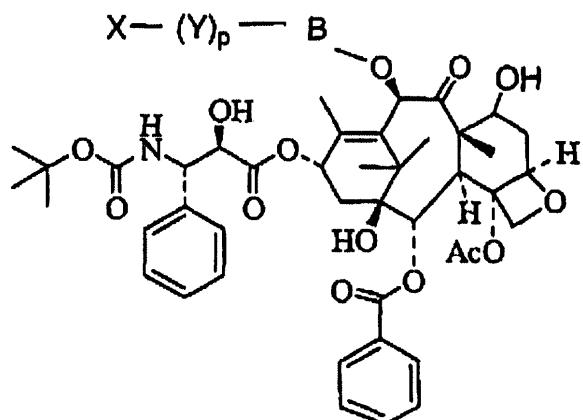
【請求項17】

ドセタキセルに反応し、実質的にタキソールに反応しないことを特徴とする抗体。

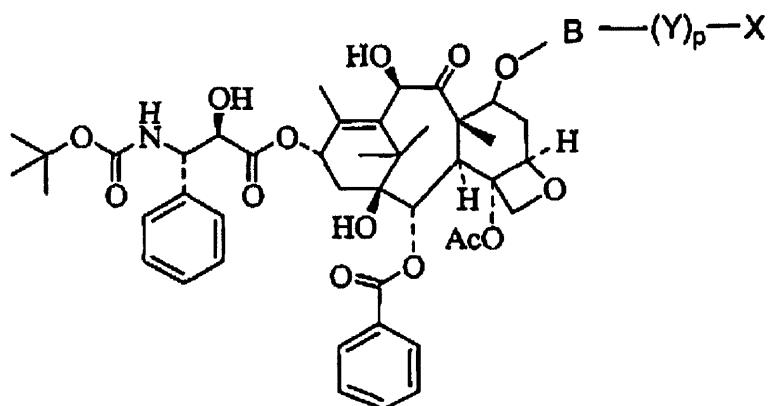
【請求項18】

請求項17記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化21】

(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)の化合物、
一般式

【化22】

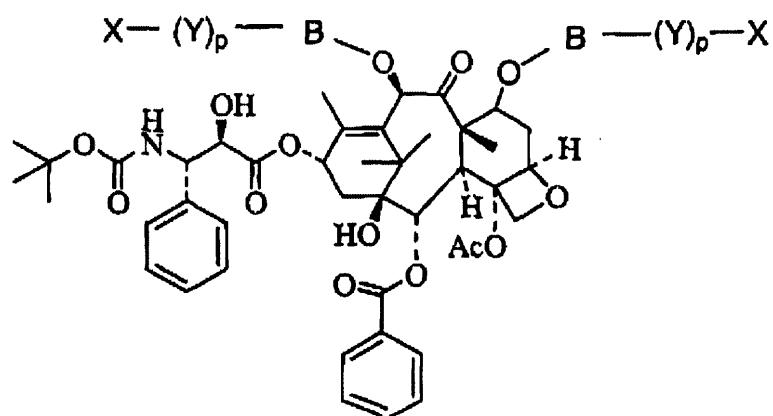


(式中、B, X, Y及びpは上述のとおり)

の化合物、

一般式

【化23】



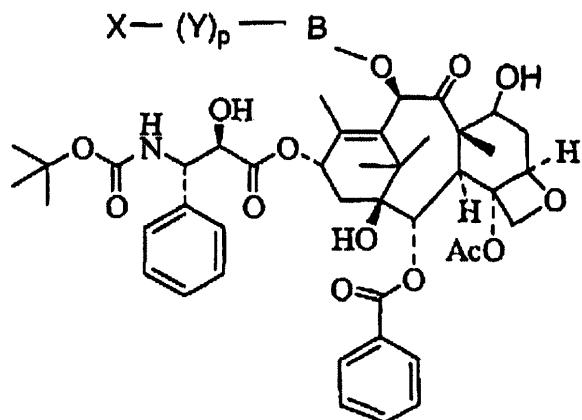
(式中、B, X, Y及びpは上述のとおり)

の化合物及びその混合物を含むグループから選択された配位子に連結された免疫原担体を含む免疫原から生成されることを特徴とする抗体。

【請求項19】

請求項18記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化24】

**II-A**

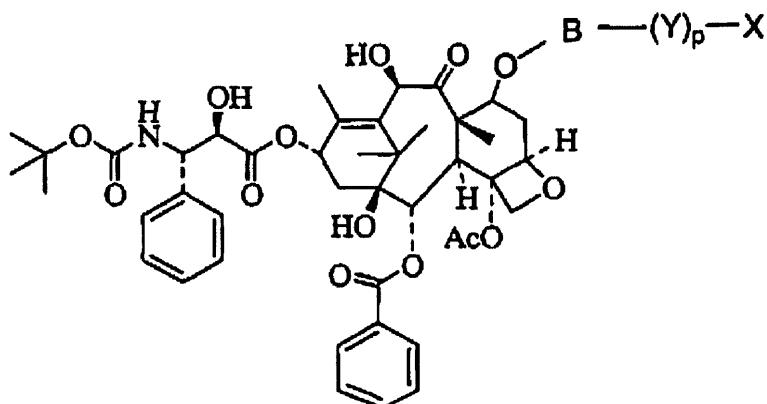
(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う免疫原担体の免疫原から誘導されることを特徴とする抗体。

【請求項20】

請求項1~8記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化25】

**II-B**

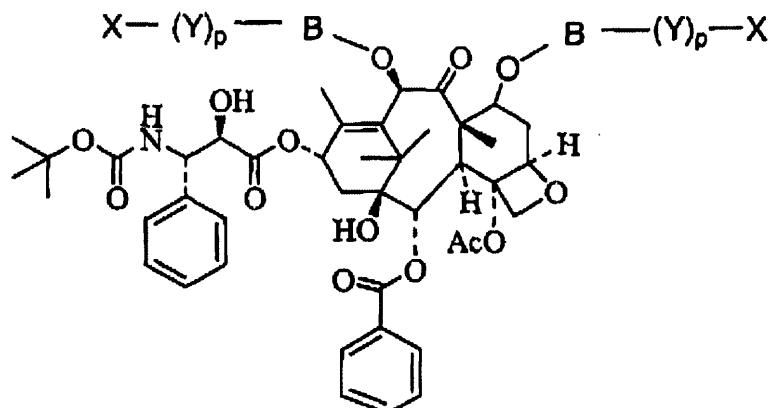
(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴うポリアミンポリマーの免疫原から誘導されることを特徴とする抗体。

【請求項21】

請求項1~8記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化26】

**II-C**(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う担体の免疫原から誘導されることを特徴とする抗体。

【請求項22】

請求項1から16のいずれか一項に記載の免疫測定法または請求項17から21のいずれか一項に記載の抗体であって、前記抗体はマウス、ウサギ又はラットから誘導されることを特徴とする免疫測定法又は抗体。

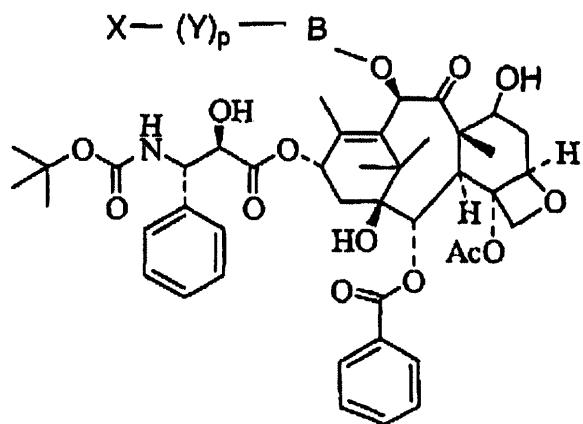
【請求項23】

請求項1から16のいずれか一項に記載の免疫測定法または請求項17から21のいずれか一項に記載の抗体であって、前記抗体はモノクロナール抗体であることを特徴とする免疫測定法又は抗体。

【請求項24】

一般式

【化27】

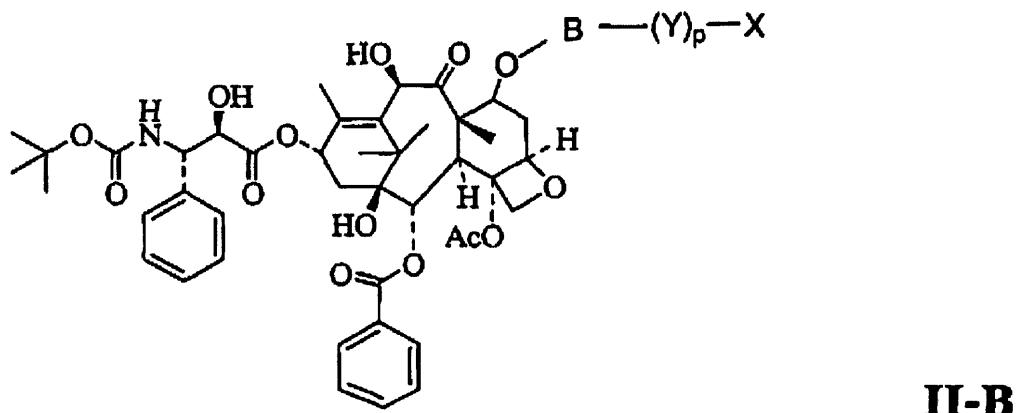
**II-A**(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

であることを特徴とする化合物。

【請求項25】

一般式

【化28】

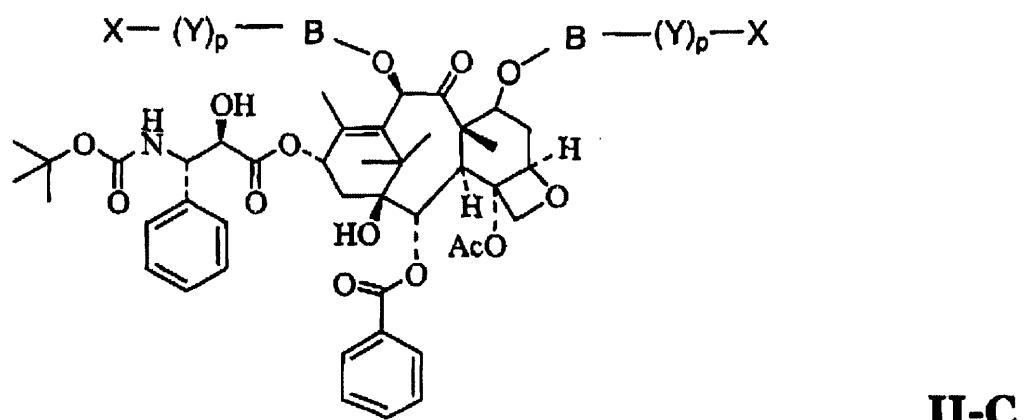
(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

であることを特徴とする化合物。

【請求項26】

一般式

【化29】

(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

であることを特徴とする化合物。

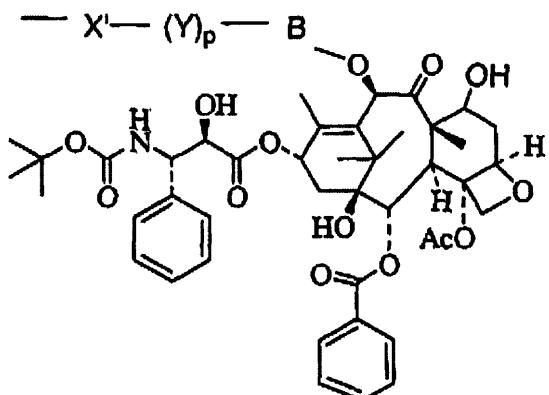
【請求項27】

請求項24から26いずれか一項に記載の化合物であって、前記担体はポリアミンポリマーを含むことを特徴とする化合物。

【請求項28】

一般式

【化30】

**III-A**

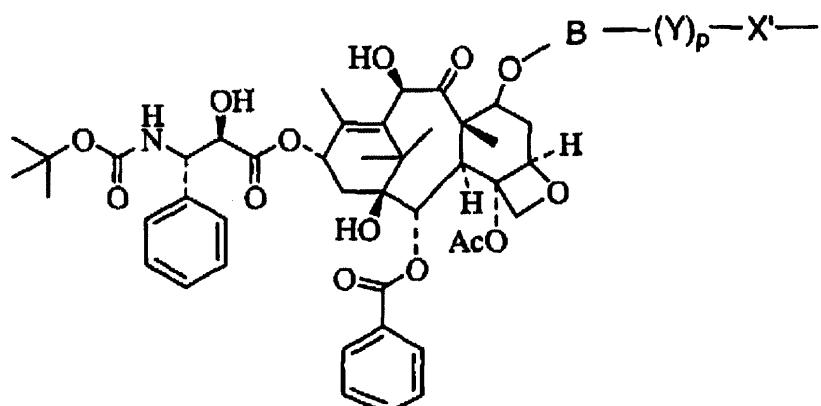
(式中、B、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりであり、

X'は-CH₂-又は担体に結合可能な官能結鎖基である)
の配位子一部分に連結した担体を含むことを特徴とする共役。

【請求項29】

一般式

【化31】

**III-B**

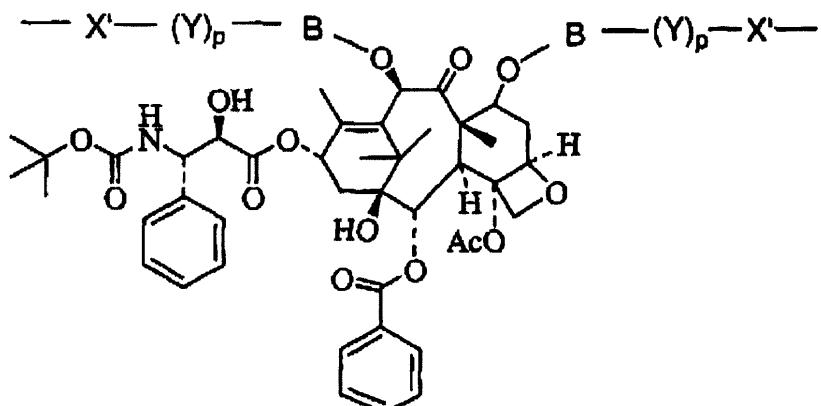
(式中、B、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりであり、

X'は-CH₂-又は担体に結合可能な官能結鎖基である)
の配位子一部分に連結した担体を含むことを特徴とする共役。

【請求項30】

一般式

【化32】



(式中、B、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりであり、

X'は-C H₂-又は担体に結合可能な官能結鎖基である)
の配位子一部分に連結した担体を含むことを特徴とする共役。

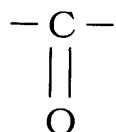
【請求項31】

請求項28から30いずれか一項に記載の共役であって、前記担体はポリアミンポリマーを含むことを特徴とする共役。

【請求項32】

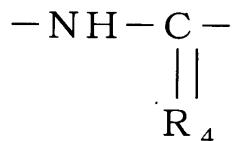
請求項28から31いずれか一項に記載の共役であって、X'は、

【化33】



又は

【化34】



であり、R₄は酸素又は硫黄であることを特徴とする共役。

【請求項33】

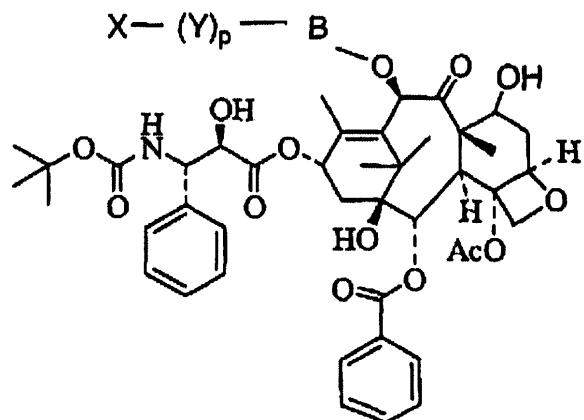
請求項28から32いずれか一項に記載の共役であって、前記ポリアミンポリマーは免疫原ポリマーであることを特徴とする共役。

【請求項34】

分離した容器に詰められた試薬を含む患者試料中のドセタキセルの存在を検出するキットであって、

試薬の1つはドセタキセルに反応し、他の試薬は一般式

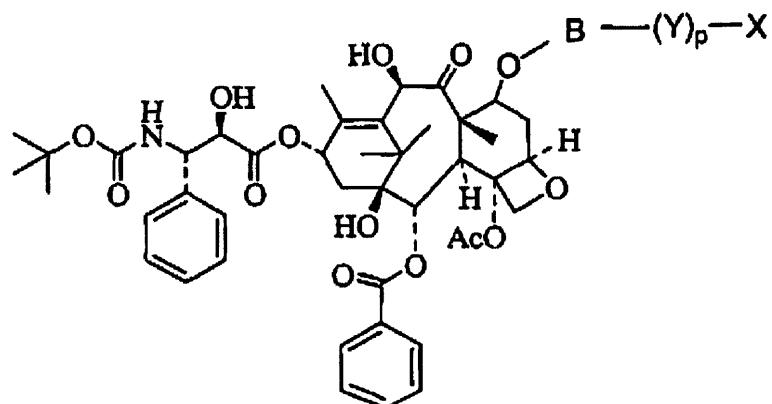
【化35】

**II-A**(式中、B、X、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりである)

の化合物、

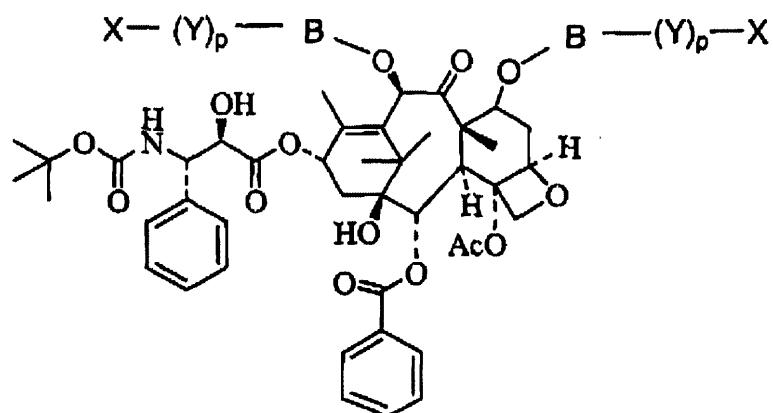
一般式

【化36】

**II-B**(式中、B、X、Y及びpは上述のとおり)

の化合物、

【化37】

**II-C**(式中、B、X、Y及びpは上述のとおり)

の化合物

及びその混合物から選択された配位子を伴う担体の共役であることを特徴とするキット。